

KENWOOD

VHF デジタル携帯無線電話装置

TCP-D143

UHF デジタル携帯無線電話装置

TCP-D243

TCP-D343

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られる場所に保管してください。

本機は日本国内専用のモデルですので、外国で使用することはできません。


本機は電波法令による無線局の免許を取得して使用する製品です。


株式会社 JVCケンウッド


安全上のご注意

絵表示について

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。ご使用の際には、次の内容（表示と意味）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

 **危険** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の近くに具体的な注意内容を示しています。



⊘ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）を示しています。



● 記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグを AC コンセントから抜け）を示しています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合、またはこの製品の使用によって受けられた損害につきましては、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠危険

使用環境・条件

- 引火、爆発の恐れがありますので、プロパンガス、ガソリン等の可燃性ガスの発生するような場所では使用しないでください。



バッテリーパックの取扱について

バッテリーパックは以下のことをお守りいただけない場合、けがや電池の漏液、発火、発熱、破裂させる原因となります。

- 充電温度範囲は、5℃～40℃です。この温度範囲以外では充電しないでください。
- 専用充電器以外では充電しないでください。
- 本機以外の機器に取付けしないでください。
- 火の中に投入したり、加熱したり、ハンダ付けしたり、分解しないでください。
- 端子を針金などの金属類でショートさせないでください。また、ネックレスやヘアピンなどの金属物と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 水の中に落した場合は使用しないでください。
- 液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。
- 液が皮膚や衣服に付着したときは、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。



⚠ 警告

使用環境・条件

- 交通安全上、運転しながら交信するのはおやめください。
- 電子機器（特に医療機器）の近くでは使用しないでください。電波障害により機器の故障・誤動作の原因となります。
- 航空機内、空港敷地内、新幹線車両内、中継局周辺では、絶対に使用しないでください（電源も入れないでください）。運行の安全や無線局の運用、放送の受信に支障をきたすおそれがあります。
- 本機を使用できるのは、日本国内のみです。国外では使用できません。
- 本機は上空および海上での使用はできません。



AC アダプターの取扱について





- AC100V 以外の電圧で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。過熱・発火の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグに触れたり、電源コードを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグはACコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの端子に金属などが触れると、火災・感電・故障の原因となります。
- 電源プラグの端子にほこりが付着したまま使用しないでください。ショートや過熱により火災や感電の原因になります。







使用方法について

- 機械に巻き込まれる恐れのある場所では、スピーカーマイククロホン等のケーブルを首にかけないでください。怪我の原因となります。




- 本機に水が入らないようにご注意ください。火災・感電・故障の原因となります。 
- 本機は "IP67(JIS 保護等級 7: 防浸形)" の構造になっていますが、海水や砂、泥などが付着したまま放置しないでください。また、雨の中や水滴が付着したり濡れた手でバッテリーパックやアンテナ、オプションの装着を行うと防水性能に影響を与える場合があります。 
- 本機の近くに小さな金属物や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。 
- 本機は調整済みです。分解・改造して使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。 

異常時の処置について

- 内部に水や異物が入った場合や、落したり、ケースを破損した場合、または異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの、異常な状態になった場合は、そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。 
- 落下などにより破損した部品には直接触らないでください。怪我の原因となります。 
- 煙が出たら、すぐに電源スイッチを切り、バッテリーパックを外し、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、お買い上げの販売店にご連絡ください。 
- 雷が鳴り出したら、安全のため早めに電源スイッチを切り、充電中は電源プラグを AC コンセントから抜いて、ご使用をおひかえください。 






保守・点検

- 本機のケースは開けないでください。感電・けが・故障の原因となります。内部の点検・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。 



お客様による修理は、危険ですから絶対におやめください。

⚠️ 注意



使用環境・条件

- テレビやラジオの近くで使用しないでください。電波障害を与えたり、受けたりすることがあります。 
- 直射日光が当たる場所や車のヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所には置かないでください。内部の温度が上がり、ケースや部品が変形・変色したり、火災の原因となることがあります。 
- 湿気が多い場所、ほこりの多い場所、風通しの悪い場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。 
- ぐらついた台の上や傾いた所、振動の多い場所には置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。 

充電器の取扱について

- 充電器のコードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電・故障の原因となることがあります。 
- 充電器の電源コードを抜くときは、必ずプラグを持ってください。コードを引っばると、コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。 

使用方法について

- アンテナを誤って目にささないようにご注意ください。 
- ユニバーサルコネクタには当社指定のオプション以外は接続しないでください。故障の原因となることがあります。 

- 乾燥した部屋やカーペットを敷いた廊下などでは静電気が発生しやすくなります。このような場所では、イヤホンを使用した時に静電気で耳の皮膚に電気ショックを感じる場合があります。静電気が発生しやすい場所ではイヤホンを使用しないか、スピーカーマイクホンをご使用ください。
- 長期間使わないときは、電源スイッチを切り、バッテリーパックを外して、ACアダプターの電源プラグをACコンセントから抜いてください。



保守・点検

- お手入れの際は、電源スイッチを切り、バッテリーパックや乾電池を外して、ACアダプターの電源プラグをACコンセントから抜いてください。
- 水滴が付いたら、乾いた布でふき取ってください。汚れのひどいときは、水で薄めた中性洗剤をご使用ください。シンナーやベンジンは使用しないでください。



定期点検について

本機の性能を維持するために定期的な点検をお薦めします。お買い上げの販売店にご相談ください。

防水性能に関するご注意

本機は水深 1 m(真水)の水没に30分間耐えることができる "IP67"(JIS 保護等級 7: 防浸形)の構造になっています。

付属のアンテナ、ユニバーサルコネクターカバー(またはオプションのスピーカーマイクなど)および当社指定のバッテリーパック(別売り品)を無線機本体に装着することにより、JIS 保護等級 7:(防浸形)保証の性能になります。防水性能に影響を与え、故障の原因となる場合がありますので、下記の注意事項をご確認ください。

- 本品の防水性能は真水環境にてのみ性能を保証しております。塩水がかかる環境でのご使用は無線機器の腐食の原因になり、防水性能の保証はできません。
- 水中では使用しないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 「分解」または「改造」はしないでください。法律で禁止されています。
- 真水以外の液体やアルコールや有機溶剤などを含む汚れた水を付着させたり浸したりしないでください。
- 真水以外の液体や砂、泥水などが付着してしまった場合は、そのまま放置せず直ちに水に浸した布をしぼってから汚れをふきとり、そのあと乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- 汚れを落とす際は、蛇口からの水や湯を直接当てないでください。また、スチーム洗浄や高圧洗浄機、エアダスターなどは使用しないでください。
- 雨の中や、水滴が付着したり濡れた手でバッテリーパックやアンテナ、オプションの装着を行うと防水性能の保証はできません。
- ユニバーサルコネクターに接続するオプションは、必ず当社指定品を使用してください。
- マイク部分やスピーカー部分に直接水が侵入すると、音声に歪みが生じる場合があります。その際にご使用になる前に本体を軽く振って水滴を取り除いてください。
- イラストに示す本機裏側の黒丸のシートは剥がさないでください。
- 本機裏側、およびバッテリーパックの裏面にはシールやステッカーなどは貼らないでください。
- IP67 規格の防水性能を維持するため、保証期間終了後は、年に一度の定期点検(有償)をお薦めします。



通信方式について

本機はデジタル、アナログ両方の機能を搭載しています (TCP-D243CT はデジタルのみです)。設定はお買い上げの販売店にご依頼ください。

免責事項について

本機の故障・誤動作などにより、利用の機会 (通話など) を逸したために発生した障害などの付随的損害については、当社は一切その責任を負いかねます。

電波法に関するご注意

- 本機は電波法令に基づき、特定無線設備の工事設計についての認証を取得した製品です。本機を分解・改造して使用すること、また本機裏面の技術基準適合ラベルを剥がして使用することは電波法令により禁止されています。
- 他人の通信を聞いてこれを漏らしたり、窃用することは電波法令により禁止されています。
- 施設の管理等により、使用が禁止されているところでは本機を使用しないでください。

機種一覧表

本書は、以下の簡易無線と一般業務用無線機を共通に説明しています。

簡易無線機

機種名	TCP-D143	TCP-D243
型式名	TCP-D143CT	TCP-D243CT
送信出力	1 W/5 W (免許状に準じて設定が異なります)	
周波数	許可された 9 波: アナログ 許可された 28 波: デジタル ¹ (154 MHz 帯) ¹ 内 9 波はデータ通信専用	許可された 65 波: デジタル (467 MHz 帯)

一般業務用無線機

機種名	TCP-D143	TCP-D243	TCP-D343
型式名	TCP-D143FT	TCP-D243FT	TCP-D343FT
送信出力	1 W/5 W (免許状に準じて設定が異なります)		
周波数	142 ~ 162.0375 MHz	400 ~ 470 MHz	335.4 ~ 400 MHz

目次

安全上のご注意	2
---------------	---

ご使用の前に

準備する	12
付属品を確認する	12
バッテリーパック(オプション)の取り付け/取り外し	12
充電のしかた	14
アンテナ(オプション)を取り付ける	16
ベルトクリップ(オプション)を取り付ける	16
バッテリーケース(オプション)を取り付ける	16
ユニバーサルコネクターにカバーを取り付ける	17
ユニバーサルコネクターにオプションを接続する	17
各部の名称	18
本体	18
表示部	19

基本操作

通話する	22
待受受信操作	22
音量を調節する	22
送信操作	22
基本機能について	23
メニューモード	23
タイムアウトタイマー	26
バッテリー残量警告	26
送信パワーの切り替え (Low パワー)	26
キーロック	26
スキャン	26
エマージェンシー (緊急送信)	26
ローン・ワーカー	26
エマージェンシー検知	27
音声アナウンス	27
PF(プログラマブルファンクション)	28

応用操作

デジタル通信について デジタルモードのみ	30
デジタルモードの機能	30

アナログ通信について アナログモードのみ	31
アナログモードの機能	31
その他の機能	32

その他

キー機能割り当てメモ	34
PF【プログラマブルファンクション】メモ	34
IDグループメモ	34
運用上の注意	35
故障かな?と思ったら	36
オプション(別売品)について	37
保証とアフターサービス	38
仕様	39

取扱説明書の記載内容について

この取扱説明書では、代表的な使用例としての設定による説明が記載されています。販売店において各種設定を変更している場合がありますので、操作方法や表示部の表示内容などが本書の説明と異なる場合があります。詳しくはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

また、下記のマークが付いた機能は、それぞれデジタル通信方式およびアナログ通信方式に設定されている場合にのみ対応する機能の説明です。

デジタルモードのみ

アナログモードのみ

説明上の注釈表記について



このマークが付いた注釈は、使用上での注意事項が記載されています。



このマークが付いた注釈は、使用上での補足事項が記載されています。

準備する

付属品を確認する

付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

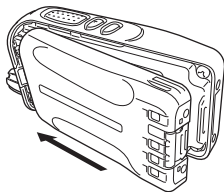
名称	数量
ユニバーサルコネクターカバー (ネジ付)	1
アンテナ (部品番号: T90-1032) *	1
取扱説明書 (本書)	1
保証書	1

* TCP-D343 のみ付属です。

バッテリーパック (オプション) の取り付け/取り外し
オプション (別売品) については、37 ページをご確認ください。

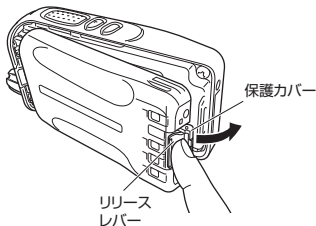
● 取り付ける

図のようにバッテリーパック裏側の凸部と本体裏側のみぞを合わせ、「カチッ」と音がするまではめ込みリリースレバーをロックさせます。保護カバーを閉じます。



● 取り外す

バッテリーパックの保護カバーを開いて、リリースレバーを押しながら取り外します。



- バッテリーパックの取付け、取り外しの際は爪や指を傷めないよう十分ご注意ください。

バッテリーパックの特性について

- 充放電を繰り返すと、使用できる時間が徐々に短くなります。
- 使用せずに置いておくだけでもわずかながら電池の劣化が進みます。
- 低温での充電時間は、室温時より長くなる場合があります。
- 高温状態で充放電を行ったり、無線機を使用すると寿命が短くなります。また、高温状態での保管も劣化の進行が早まります。車の中に置いたままにしたり、暖房機の上に置いたりしないでください。
- バッテリーパックを高温状態で放置すると使用できなくなります。バッテリーパックが冷えてから使用してください。冷えても使用できない場合は、一度充電してください。使用できるようになります。
- 長期間保存後は、電池容量が低下していることがあります。必ず充電してからご使用ください。
- 満充電しても使用時間が短くなってきた場合は、バッテリーパックの寿命です。このまま充電／放電を繰り返すと、液漏れの原因になることがあります。新しいバッテリーパックをお買い求めください。



Li-ion 00
充電式

不要になった電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店、当社営業担当窓口または代理店へお持ちください。
リサイクルにご協力をお願いいたします。

使用済み充電式電池の取扱注意事項

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 被覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。



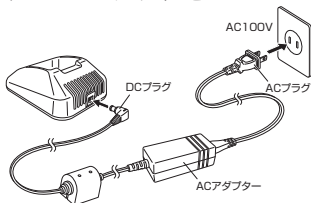
- バッテリーパック、充電器、ACアダプター、ベルトクリップは専用品を使用してください。
- バッテリーパックはお買い上げ時に満充電されていません。お使いになる前に必ず満充電にしてご使用ください。
- 長時間お使いにならないときは、バッテリーパックを本機から取り外してください。
- バッテリーパックの端子をショートさせたり、バッテリーパックを火中に投げたりしないでください。また、分解しないでください。

準備する

充電のしかた

はじめてお使いになるときや、使用後は必ず充電してください。

- 1 ACアダプターのDCプラグを充電器のDC IN端子に差し込む
- 2 ACアダプターのACプラグをACコンセントに差し込む



- 3 無線機またはバッテリーパック単体を充電器に差し込む

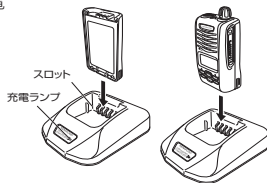
※無線機本体を充電器に差し込む時は、電源をOFFにしてください。

充電ランプが「赤」に点灯します。充電時間の目安は下記のとおりです。

- ・KNB-57L：約2時間30分
- ・KNB-62L：約1時間35分

充電ランプの表示について

赤色：充電中 緑色：充電完了



- 4 充電ランプが「緑」に点灯して、充電が完了する

無線機またはバッテリーパックを抜き取ります。

充電ランプが点灯しない、または赤色点滅する場合は・・・

- 正しく差し込まれていない→再度差し込みなおしてください。
- バッテリーパックが異常である→新しいバッテリーパックを使用してください。
- 端子が接触不良になっている→端子を綿棒や乾いた布で拭いてから、再度充電してください。

充電ランプが赤色と緑色に交互に点灯する場合は・・・

- バッテリーパックが極端に高温または低温になっている→室温に戻してから、再度充電してください。



- 必ず専用のリチウムイオンバッテリーパックを使用して充電してください。指定以外のバッテリーパックを用いて充電すると故障の原因になります。
- 充電端子を金属物などでショートさせないでください。
- 本体やバッテリーパックが濡れたままで充電すると、故障の原因になります。本体やバッテリーパックが濡れているときは、乾いた布でよくふき取ってから充電器に差し込んでください。
- 充電器の端子は、ゴミなどが付着しないように綿棒や乾いたやわらかい布で時々拭いてください。
- 充電器の近くで無線機を使用すると、充電器が誤動作することがあります。

バッテリーの持続時間(目安)について

持続時間は送信3秒、受信3秒、待受け54秒、バッテリー・セーブ機能(→32ページ)OFFの連続使用にてテスト使用した場合の目安です。

■ リチウムイオンバッテリーパックの使用可能時間(バッテリー・セーブOFF)

- ・KNB-57L : 約11時間(デジタル/アナログモード共)
- ・KNB-62L : 約7時間(デジタル/アナログモード共)

■ リチウムイオンバッテリーパックの使用環境についてのご注意

- ・KNB-57L : -20℃～+60℃の温度範囲で使用できます。
- ・KNB-62L : -10℃～+60℃の温度範囲で使用できます。
-20℃以上-10℃未満の温度環境で使用する場合は、ロー・パワー出力で使用するか、KNB-57Lを使用してください。

準備する

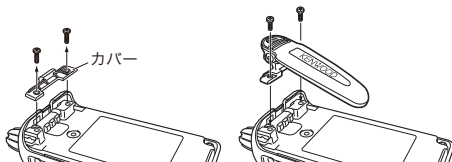
アンテナ (オプション) を取り付ける

アンテナの根元を持ち、本体上面のコネクターに時計方向 (右) に固定されるまで回して確実に取り付けます。



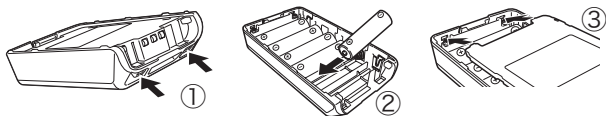
ベルトクリップ (オプション) を取り付ける

図のように本体のネジとカバーを取り外します。次にベルトクリップと本体のネジ穴を合わせて、取り付けます。ネジは必ずベルトクリップに付属のネジを使用してください。



バッテリーケース (オプション) を取り付ける

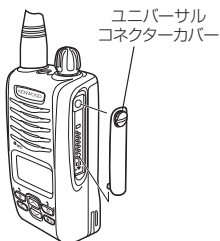
① 図のように2カ所のタブを同時に押してカバーを開けます。
 ② 単三アルカリ乾電池6本を極性に注意して入れます。
 ③ カバーのタブをケースのミゾに合わせて元通りはめ込みます。
 取り付け / 取り外しはバッテリーパックと同じです。12ページを参照してください。



- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用したり、異なる種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ニカド電池やマンガン電池は使用しないでください。
- 長時間使用しない場合は、バッテリーケースを取り外してください。

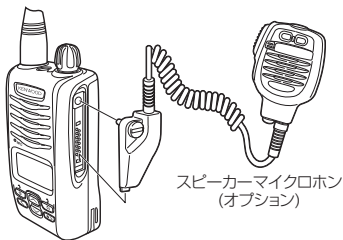
ユニバーサルコネクターにカバーを取り付ける

オプションのスピーカーマイク等を使用しない場合は、付属のネジを使用して取り付けます。



ユニバーサルコネクターにオプションを接続する

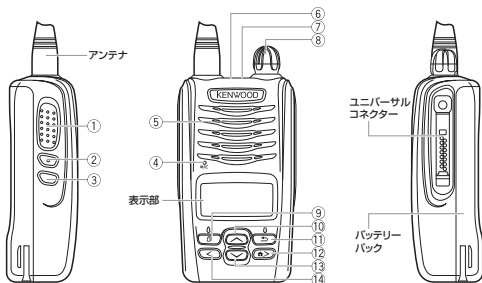
無線機本体のみぞにオプションのスピーカーマイクロホンのガイドを差し込み、ネジでしっかり固定してください。ネジは手で締め付けできませんが、確実な防水性能を確保するために、締め付け・取り外しの際はコイン等を使用してください。









- ユニバーサルコネクターカバーまたはマイクコネクターを取り付けていないと、本機の防水性能は保証できません。
- オプションを取り外すときは、プラグ部をしっかり持って取り外してください。ケーブルを持って取り外すと、断線の原因になります。

各部の名称

本体



- ① **【PTT】 スイッチ**
押すと送信されます。押したままマイクホンに向かって話します。
- ② **【Side1】 キー**
スケルチ解除モーメンタリー¹
- ③ **【Side2】 キー**
バックライト
- ④ **マイクロホン**
- ⑤ **スピーカー**
受信音声を出力します。
- ⑥ **【AUX】 キー**
エマージェンシー (緊急送信)²
- ⑦ **送受信 LED**
送信時は赤色に点灯します。
受信時は緑色に点灯します。
- ⑧ **【PWR/VOL】**
電源 ON/OFF、および音量調節をします。
- ⑨ **【】 メニューキー**
メニューモード ON/OFF
- ⑩ **【】 アップキー**
チャンネルアップ
- ⑪ **【】 リターンキー**
リターン
- ⑫ **【】 ライト / ホームキー**
ゾーンアップ³
- ⑬ **【】 ダウンキー**
チャンネルダウン
- ⑭ **【】 レフトキー**
ゾーンダウン³

¹TCP-D243CT は「モニター・モーメンタリー」です。

²TCP-D143CT/TCP-D243CT はblank (機能無し) です。

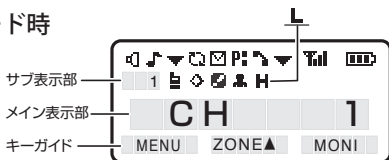
³TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。



- ②③⑥⑨～⑭のキーには機能が登録できます。登録する機能はあらかじめ販売店にて設定されていますが、変更も可能です。お買い上げの販売店にお問い合わせください。(28ページの「PF(プログラマブルファンクション)」を参照)
- 設定された機能は34ページの「キー機能割り当てメモ」に記入しておくとお便利です。

表示部

通常モード時

















ファンクションモード時













例) グループ呼出しモード



表示	説明
	モニター / スケルチ解除を表示します。
	着信を受けたときに点滅します。点滅中にいずれかのキーを押すと音声が出力され点灯に変わります。
	右: スキャン対象チャンネルのときに表示します。 左: スキャン対象ゾーン ¹ のときに表示します。
	点灯: スキャン ON。 点滅: スキャン一時停止。
	受信履歴 (スタックデータ) を表示します。 点灯: 受信履歴に既読のメッセージがあります。 点滅: 受信履歴に未読のメッセージがあります。
	P¹ : プライオリティ・チャンネル 1 を表示します。 P² : プライオリティ・チャンネル 2 を表示します。 P² : プライオリティ・チャンネル 1&2 を表示します。




各部の名称

	<p>受信している電波の強さに応じて表示します。 : 強 : 中 : 弱 : 微弱 消灯: キャリア無し</p>
	<p>バッテリーの残量を表示します。 : 高 : 中 : 低 : 要充電</p>
	<p>サイレント・アラーム機能を表示します。 : サイレント・アラームが設定されると点灯します : 着信を受けたときに点滅します。点滅中にいずれかのキーを押すと、音声が出力され点灯に変わります。</p>
	<p>スクランブラー / 秘話通信機能 ON を表示します。</p>
	<p>エマージェンシー検知機能 ON を表示します。</p>
	<p>ローン・ワーカー機能 ON を表示します。</p>
	<p>送信出力を表示します。 H : ハイ・パワー出力 (5 W) を表示します。 L : ロー・パワー出力 (1 W) を表示します。</p>
	<p>サブ表示部: チャンネル番号やゾーン番号¹および GPS の測位状態を表示します。 例) ・ダイレクトチャンネルの場合: DR1 ~ DR5 ・デジタルモードの場合: D01 ~ D19* ・アナログモードの場合: A01 ~ A09* *TCP-D143CT のみ</p>

	<p>メイン表示部：以下の日本語表示に対応します。(全角最大7文字まで)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チャンネル/ゾーンネーム¹ ・ステータスネーム ・IDネーム(個別ID/グループID)・起動メッセージ ・エマージェンシーテキスト etc.
	<p>キーガイド：表示部の下側に、   キーを押すと起動する機能を表示します。 ※表示されるガイドは無線機の状態により異なります。</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none">  MENU : メニューモードを起動します。  LOW : 出力を LOW パワーに切り替えます。  MONI : モニターを ON/OFF します。  OK : 確定されます。 SELECT : 選択します。 DELETE : 削除されます。 CONFRM : 確認します。  EXIT : 解除されます。  NEXT : 次のステップへ進みます。  BACK : 前のステップへ戻ります。

¹TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。



- 各アイコンは、販売店にて機能が設定されている場合に表示されます。
- 各種設定画面において、【/】キーの機能がリスト選択やコード選択の場合がありますが、その際【】のキーガイドは表示されません。

通話する

待受受信操作

1 【PWR/VOL】を時計方向に回して電源を ON する

「ピーッ」と鳴って電源が入ります。電源を OFF するには【PWR/VOL】を「カチッ」という音がするまで反時計方向に回します。

2 【ゾーンアップ】/【ゾーンダウン】を押してゾーンを合わせる¹

3 【チャンネルアップ】/【チャンネルダウン】を押してチャンネルを合わせる

待受受信の状態でも相手から送信されると、送受信 LED が「緑」に点灯します。

音量を調節する

4 【PWR/VOL】を回す

時計方向に回すと音量が大きく、反時計方向に回すと音量が小さくなります。デジタルモードの場合は、はじめに 12 時の位置に合わせておき、その後は相手の音声で適度な音量になるような位置に調節してください。

送信操作

5 【PTT】スイッチを押しながら話す

押しながらマイクロホンに向かって話します。送受信 LED が「赤」に点灯し、送信状態になります。

マイクロホンは口元から 3～4cm 程度離してください。近づけすぎたり、離しすぎたりすると、受信相手が聞き取りにくくなります。【PTT】スイッチを離すと待受受信状態に戻ります。

¹TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。



- 他に送信している無線局がないことを確認してから送信してください（送受信 LED の緑色が消灯していること）。
- 使用できるチャンネルや表示されるチャンネル名は、設定により異なります。設定内容については販売店にお問い合わせください。
- TCP-D143CT は、データ専用チャンネルでの音声通話はできません。詳しくは販売店にお問い合わせください。
- 通信は免許状に記載された無線局の目的、通信の相手方、通信事項の範囲を超えないでください（非常通信など電波法で定める場合を除く）。

基本機能について

メニューモード

いろいろな機能をメニュー形式で実行/設定するモードです。

メニューの操作

例) スケルチ・レベルの調整

1 【メニュー】を押す

メニューモードになり、カテゴリーリストが表示されます。



2 【(上)/(下)】を押してカテゴリーを選び【(右)】を押す

選択したカテゴリーのファンクションリストが表示されます。

【(左)】を押すと前の状態に戻ります。



3 【(上)/(下)】を押してリストを選び【(右)】を押す

選択した機能が実行されます。

ON/OFF などの機能を設定する場合は、選択した状態が確定されます。



4 【(右)】を押す

メニューモードが終了します。



- 操作の途中で【(左)】を押すとメニューモードは終了します。
- メニューは最大8つのカテゴリーに分類されますが、カテゴリーが1つしか設定されていない場合は、直接ファンクションリストが表示されます。
- 表示されるメニューの項目やカテゴリーは設定により異なります。設定内容および機能の詳細や操作については、販売店にお問い合わせください。

メニューの内容

メニューから実行/設定が可能な機能は下表のとおりです。

メニュー表示 (タイトル)	機能内容
ACTIVITY DTCT	エマージェンシーの検知機能 ON/OFF
AUTO DIAL ¹	オートダイヤル起動
DIRECT CH1 SEL	ダイレクトチャンネル選択
DISP FORMAT	表示形式機能 ON/OFF
EXT MIC TYPE	外部マイク・タイプの設定
FIXED VOLUME	固定音量の設定
GPS POS DISP	無線機の位置表示 ON/OFF
GROUP	グループ呼び出しモード (デジタル) 起動
GROUP+SDM ²	グループ呼び出し+ショートデータメッセージモード起動
GROUP+STATUS	グループ呼び出し+ステータスモード (デジタル) 起動
HOME CH SEL ¹	ホーム・チャンネル選択
INDIVIDUAL	個別呼び出しモード (デジタル) 起動
INDIV+SDM ²	個別呼び出し+ショートデータメッセージモード起動
INDIV+STATUS	個別呼び出し+ステータスモード (デジタル) 起動
LONE WORKER	ローン・ワーカー 機能 ON/OFF
LOW TX POWER	送信パワー (ロー・パワー) (5 W/1 W)
MONITOR	モニター ON/OFF
PRI CH SEL	プライオリティ・チャンネルセレクトモード起動
RX AUDIO EQ	受信オーディオ・イコライザーの設定
RX AGC	自動音量制御
RX LOW CUT	受信時の低周波成分除去モード起動
SCAN	スキャン ON/OFF
SCAN DEL/ADD	スキャン対象 (チャンネル)
SCRAM/ENCRYP	秘話機能 ON/OFF
SCRAM CODE ¹	秘話番号/秘話鍵リスト番号モード起動
SELCALL ¹	セレコール (FleetSync) モード起動
SELCALL+STATUS ¹	セレコール+ステータス (FleetSync) モード起動
SILENT ALARM	サイレント・アラームモード起動
SEND GPS DATA	GPS データ送出
SHORT MESSAGE ²	ショートデータメッセージモード起動
SQUELCH LEVEL ³	スケルチ・レベルモード起動
SQUELCH OFF ³	スケルチ解除の ON/OFF
STACK	受信履歴モード起動
STATUS	ステータス (FleetSync/ デジタル) モード起動

メニュー表示 (タイトル)	機能内容
PASSWORD	無線機パスワードモード起動
TX AUDIO EQ	送信オーディオ・イコライザーの設定
TX AGC	自動マイク・ゲイン制御の ON/OFF
TX NOISE SUPPR	送信時のノイズ除去モード起動
ZONE DEL/ADD ¹	スキャン対象 (ゾーン)

¹TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。

²TCP-D143CT/TCP-D243CT のみの機能です。

³TCP-D143CT/TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。

以下の機能は、販売店の設定により使用可能となります。設定内容や機能の詳細については、お買い上げの販売店にご相談ください。


タイムアウトタイマー

設定された時間が経過すると、連続送信を自動的に停止する機能です。15 秒～ 20 分の間で設定できます。

設定された時間をすぎても【PTT】スイッチを押し続けると警告音が鳴り、離すと停止します。送信を続けたいときは一度【PTT】スイッチを離してから再度押し直してください。

TCP-D143CT/TCP-D243CT のデジタルモードで 5 分以上送信を続けると警告音が鳴り、送信が停止します。この場合 1 分以上経過しないと再度送信することはできません。

バッテリー残量警告

バッテリーの容量が減ると、表示部の""が点滅して知らせます。LED が「赤」に点滅し警告音が鳴ります。早めにバッテリーパックを充電するか交換してください。

送信パワーの切り替え (Low パワー)

「High : 5 W」に設定されているチャンネルを、High ⇄ Low のどちらかに切り替える機能です。メニューまたは PF キー【LOW トランスミットパワー】を押して切り替えます。

あらかじめ「Low : 1 W」に設定されているチャンネルを「High」に切り替えることはできません。

基本機能について

キーロック

本体のキー操作を無効にして誤操作を防止します。PF キー【キーロック】を押して ON/OFF を切り替えます。キーロックが ON の場合でも以下のキーは操作可能です。

- ・【エマージェンシー】
- ・【バックライト】
- ・【モニター】
- ・【モニター・モーメンタリー】
- ・【スケルチ解除モーメンタリー】
- ・【ファンクション】
- ・【キーロック】
- ・【PTT】スイッチ
- ・【スケルチ解除】

スキャン

スキャンは周波数を自動的に変化させて信号を探す機能です。PF キー【スキャン追加 / 削除】により、各チャンネルをスキャンする（追加）または、しない（削除）かを設定します。本機には下記のタイプのスキャンがあります。

- ・**シングルスキャン**
スキャンが開始されたゾーンのみをスキャンします。
- ・**マルチスキャン¹**
すべてのゾーンをスキャンします。
- ・**リストスキャン¹**
選択されたゾーンをスキャンします。
- ・**プライオリティスキャン**
プライオリティ・チャンネルセレクトモードで選んだチャンネルを一定時間おきにスキャン動作に入れてチェックするスキャンです。



- TCP-D143CT では、アナログチャンネルが設定されているときはスキャンは動作しません。

エマージェンシー(緊急送信)

緊急に連絡が必要な場合、指定局に緊急信号の送受信を行う機能です。緊急信号を受信するとピープ音と表示で緊急事態発生を知らせます。【AUX】キーを押して緊急信号を送信します。緊急送信中に再度押すと終了します。



- アナログチャンネル受信中は、【AUX】キーは動作しません(TCP-D143CTのみ)。

ローン・ワーカー

ユーザーが危険な場所で単独で作業をする場合などに、何らかの事故が発生して一定時間無線機の操作がない場合、自動的にエマージェンシーモードに入る機能です。

エマージェンシー検知

本機は加速度/傾斜センサーを内蔵しており、下記のようにユーザー(無線機本体)の動作や状態を解析し、自動的にエマージェンシー(緊急送信)モードになります。

- **転倒検知**
ユーザーが倒れた状態を検出します。
- **静止検知**
ユーザーが動かなくなった状態を検出します。
- **動き検知**
ユーザーが激しい動きをした状態を検出します。

音声アナウンス²

チャンネルやゾーンを切り替えたときに、音声でそのチャンネルやゾーンをアナウンスする機能です。

¹TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。

²TCP-D143CT/TCP-D243CT ではチャンネルのみをアナウンスします。

PF(プログラマブルファンクション)

本機のキーには下記機能の設定が可能です。(18、19ページ参照)
<機能の詳細や操作については販売店にお問い合わせください。>
※ () 内は表示部に表示されるキーガイドを示します。

- 無設定
- エマージェンシー検知 (ACT_DT)
- エマージェンシー遅延タイマーのリセット (ACT_RS)
- オートダイヤル (A_DIAL)¹
- バックライト (LIGHT)
- ワンタッチ・コール 1～ワンタッチ・コール 6 (CALL1～CALL6)
- チャンネル番号ダウン (CH▼)
- チャンネル番号アップ (CH▲)
- 最終受信チャンネル(スキャン) (CH_RCL)
- ダイレクトチャンネル 1～ダイレクトチャンネル 5 (DR1～DR5)
- 表示形式 (DISP)
- エマージェンシー
- 固定音量 (FX_VOL)
- ダブルファンクション (FNC)
- 無線機の位置表示 (GPS)
- グループ呼出 (GROUP) デジタルモードのみ
- グループ呼出 + ステータス (GRP+ST) デジタルモードのみ
- ホーム・チャンネル (HOME)¹
- ホーム・チャンネルに設定¹
- 個別呼出 (INDCAL) デジタルモードのみ
- 個別呼出 + ステータス (IND+ST) デジタルモードのみ
- キーロック (K_LOCK)
- ローン・ワーカー (LN WKR)
- 送信パワー (ロー・パワー) (LOW)
- メニュー (MENU)
- モニター (MONI)
- モニター・モーメンタリー (MONI)

- プライオリティ・チャンネルに設定 (OSP)
- スキャン (SCAN)
- スキャン対象 (チャンネル) (D/A)
- 秘話 (SCR)
- セレコール (SELCAL) **アナログモードのみ**¹
- セレコール+ステータス (SEL + ST) **アナログモードのみ**¹
- GPS データ送出 (GPS_TX)
- サイレント・アラーム (SL_ALM)
- 音量アッテネート
- スケルチ・レベル (SQL)²
- スケルチ解除 (SQ_OFF)²
- スケルチ解除モーメンタリー (SQ_OFF)²
- 受信履歴 (スタック) (STACK)
- ステータス (FleetSync/ デジタル) (STATUS)
- 無線機パスワード (PASSWD)
- スキャン対象 (ゾーン) (ZN_D/A)¹
- ゾーンダウン (ZONE ▼)¹
- ゾーンアップ (ZONE ▲)¹
- ショートデータメッセージ (SDM)³
- グループ呼び出し+ショートデータメッセージ (GRP+SD)³
- 個別呼び出し+ショートデータメッセージ (IND+SD)³
- メンテナンス (MAINT)

¹TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。

²TCP-D143CT/TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。

³TCP-D143CT/TCP-D243CT のみでデジタルモードでの機能です。

デジタル通信について

デジタルモードのみ

デジタルモードの機能

以下の機能は、デジタルモードの場合に販売店の設定により使用可能となります。設定内容や機能の詳細については、お買い上げの販売店にご相談ください。

ユーザーコード (UC) 通信

同じチャンネルを複数のユーザーが使用する場合、同じユーザーコードを設定している通話グループ同士が通話できる呼出し方式です。

本機はユーザーコード (UC) を、OFF、1～63 の範囲で設定できます。

デジタルセレコール

デジタルセレコールを使用すると、個別、グループと自由に選択して呼び出すことができます。セレコールの呼び出しを受けると、各々の呼び出し音が鳴り LED が「橙」に点滅します。

- 個別呼び出し

相手局を個別に呼び出して通話できます。

- 個別呼び出し (ACK 要求)

相手局が通話可能であることを確認して通話できます。

- グループ呼び出し

個別局をグループに分けて、任意のグループ毎に呼び出してグループ内すべての相手と通話できます。

- ページング呼び出し

通話せずに相手局を個別に呼び出すことができます。

ショートデータコール / ロングデータコール

ショートメッセージ (半角英数字: 100文字/全角文字: 50文字まで) またはロングメッセージ (半角英数字: 4096文字/全角文字: 2048文字まで) の送受信ができます。ロングメッセージは PC 等を接続して通信するため、無線機にメッセージを表示させることはできません。

ステータスコール

あらかじめ設定された簡易メッセージ (「休憩中」「作業中」など) を送信する機能です。メッセージを受信すると表示部に "☑" が点滅して知らせます。受信したメッセージは受信履歴 (スタック) モードで確認できます。

秘話通信

音声データに暗号化を行い、秘匿性を高めた送受信ができます。

アナログ通信について

アナログモードのみ

アナログモードの機能

以下の機能は、アナログモードの場合に販売店の設定により使用可能となります。設定内容や機能の詳細については、お買い上げの販売店にご相談ください。

アナログセレコール¹

本機のアナログセレコールは、弊社が開発した FleetSync というデータ通信方式による FleetSync ID を使用した呼出し方法です。

- **個別呼び出し**
Fleet と ID を指定し、一致する局を呼び出して通話できます。
- **Fleet 呼び出し**
Fleet だけを指定し、一致する局を呼び出して通話できます。
- **グループ呼び出し**
Fleet とグループ ID を指定し、一致する局を呼び出して通話できます。
- **スーパーバイザー呼び出し**
ID だけを指定し、一致する局を呼び出して通話できます。
- **ブロードキャスト呼び出し**
Fleet と ID が設定されているすべての局を呼び出して通話できます。

ショートメッセージ/ロングメッセージ¹

ショートメッセージ(半角英数字: 48文字/全角文字: 24文字まで)またはロングメッセージ(半角英数字: 4096文字/全角文字: 2048文字まで)の送受信ができます。ロングメッセージは PC 等を接続して通信するため、無線機にメッセージを表示させることはできません。

ステータスメッセージ¹

あらかじめ設定された簡易メッセージ(「休憩中」「作業中」など)を送信する機能です。メッセージを受信すると表示部に "☑" が点滅して知らせます。受信したメッセージは受信履歴(スタック)モードで確認できます。

スクランブラー¹

音声データにスクランブルをかけて、通話内容を聞き取れないようにする機能です。

¹TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。

その他の機能

本機には次のような機能もあります。これらの機能は販売店においてのみ設定可能です。詳細については、お買い上げの販売店にご相談ください。

● CTCSS **アナログモードのみ**

CTCSS (Continuous Tone Coded Squelch) とは、音声信号に CTCSS コードを付加して送信し、自局と相手局で CTCSS コードが一致した時に、スクルチが開き受信できる機能です。特定の相手局と交信したい時にご利用ください。選択できる CTCSS コードは 33 波です。

● DCS **アナログモードのみ**

DCS (Digital Coded Squelch) とは、あらかじめ相手局と決めておいた DCS コードを音声信号に付加して送信します。

自局と相手局で DCS コードが一致した時に、スクルチが開き受信できる機能です。特定の相手局と交信したい時にご利用ください。選択できる DCS コードは 83 種類です。

● コンパンダー **アナログモードのみ**

雑音を抑えて、音声のみを明瞭にする機能です。使用する場所の周りが騒がしく、音声が聞き取りにくい場合に設定します。この機能を使用するには、送信側と受信側の双方がこの機能を設定する必要があります。

● バッテリー・セーブ

電池の消耗を防ぐ機能です。受信待ち受け状態で約 5 秒間キー操作がないと、この機能が働きます。信号を受信するか、キー操作が行われるとバッテリー・セーブは解除されます。

● マイク感度

内蔵マイクおよびオプションのスピーカーマイクの感度を、6dB ～ -20dB から選択できます。

● ビート・シフト

受信する周波数により内部ビートが発生し、スクルチが開いてしまう場合などに、マイコンのクロック周波数を変化させて内部ビートを抑え、受信に影響を与えないようにする機能です。

● ビジー・チャンネル・ロックアウト

送信しようとしているチャンネルを他の局が使用中の場合は、そのチャンネルでの送信を禁止する機能です。

● コネクトアンサー¹

相手局が通信圏内にいるかどうかを確認できる機能です。

デジタルモードにおいて、通信圏内にいるかどうかを確認する場合は、デジタルセレコールの個別呼び出し (ACK 要求) 機能を使用してください。

● 通話開始トーン

【PTT】スイッチを押した後、交信可能な状態になるとこのトーンが鳴ります。

● 終話トーン

通信相手が【PTT】スイッチを離して送信を終了するとこのトーンが鳴ります。

● 起動画面

電源を ON したときに、表示部に任意のビットマップ画像を 2 秒間表示させる機能です。

● 起動メッセージ

電源を ON したときに、表示部に任意の文字列（全角最大 7 文字まで）を 2 秒間表示させる機能です。

● プログラマブル着信トーン

ステータスメッセージを受信したときに任意の着信音を鳴らすように設定する機能です。

● GPS データ送出

本機に GPS ユニットを接続することにより、自局の位置情報を送信する機能です。

● 無線機の位置表示

本機に GPS 搭載オプションを接続することにより、自局の位置情報を表示する機能です。

● 表示形式

待受け受信中の表示をチャンネルネーム、またはゾーン番号とチャンネル番号かを設定する機能です。

● DTMF²

DTMF は電話などから聞こえるピポパ音のことで、2 つの周波数を組み合わせたコードになります。個別呼出しやレピーターの制御コマンドを送信したりするような場合に使用する機能です。

¹TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT はアナログモードのみの機能です。
TCP-D143CT/TCP-D243CT はデジタルモードのみの機能です。

²TCP-D143FT/TCP-D243FT/TCP-D343FT のみの機能です。

キー機能割り当てメモ

PF【プログラマブルファンクション】メモ

本体のキー (18 ページ参照) に割り当てられた機能を下の表にメモしておくとお便利です。

F+: は【ダブルファンクション】キーを押した後の2番目の機能です。

キー	割り当て機能	
 (AUX)		F+:
 (Side 1)		F+:
 (Side 2)		F+:
 (メニュー)		F+:
 (レフト)		F+:
 (アップ)		F+:
 (ダウン)		F+:
 (リターン)		F+:
 (ライト/ホーム)		F+:

ID グループメモ

IDグループ名に対する実際の名称などを記入しておくとお便利です。

表示	名称

運用上の注意

● 使用上の制限

通話は免許状に記載された次の事項の範囲内で行わなければなりません。

1. 無線局の目的
2. 通信の相手方
3. 通信事項

また、免許人以外が運用することは原則としてできません。

● 免許の有効期限

免許状に記載してある有効期間が過ぎると、無線局の運用はできません。

● 再免許の申請

引き続き運用する場合は、有効期間が終了する6ヶ月前から3ヶ月前までの間に、再免許の申請をしなければなりません。

再免許の手続きはお買い上げの販売店にご相談ください。

● 免許の申請その他の手続き

免許の申請や下記の手続きは、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 再免許の申請
- 免許状の記載事項に変更が生じる場合
- 免許状が破れたり、汚れたり、紛失した場合の再交付申請
- 無線設備を変更する場合
- 無線局を廃止した場合

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下の表を確認してください。該当する症状がない場合や異常を解決できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

症状	原因	処置	参照ページ
・電源が入らない	電池が消耗している。	充電する。	14
		予備の電池パックや新しい電池パックと交換する。	12
・通話ができない ・【PWR/VOL】を回しても音が出ない	シグナリング・スケルチ(CTCSS/DCS)のコードが違っている。 アナログモードのみ	販売店にご相談ください。	32
	受信波が弱い。	【スケルチ解除モーメントリ】を押す。	18, 29
	相手局とチャンネル設定が違っている。	同じチャンネル設定にする。	22
	相手局と通信方式が違っている。	販売店にご相談ください アナログ通信方式とデジタル通信方式では、交信することができません。	—
	相手局とユーザーコード(UC)が違っている。 デジタルモードのみ	販売店にご相談ください。	—
送信ができない	ビジー・チャンネル・ロックアウトが働いている。	チャンネルを変更するか、LEDの「緑」点灯が消えるのを待つ。	22
	スピーカーマイクの接続が外れている。	スピーカーマイクを接続する。	17
	タイムアウトタイマー(連続送信防止機能)が働いている。	タイムアウトタイマーが機能した場合は、送信禁止時間が経過するのを待つ。	25
	電池が消耗している。	充電する。	14
予備の電池パックや新しい電池パックと交換する。		12	
・チャンネルが切り換わらない ・キーを押しても機能しない	キーロックになっている。	キーロックを解除する。	26

オプション(別売品)について

本機には、次のようなオプション(別売品)が用意されています。

- ・ KSC-2566 連急速充電器
- ・ KSC-25L急速充電器
- ・ KSC-42L急速充電器(ハードケース装着充電対応)
- ・ KSC-25LMLAC アダプター
- ・ KSC-25LCR連結充電台
- ・ KSC-45LSLAC アダプター
- ・ KSC-45LCR連結充電台
- ・ KSC-42LCR連結充電台(ハードケース装着充電対応)
- ・ KNB-62Lリチウムイオンバッテリーパック
- ・ KNB-57Lリチウムイオンバッテリーパック
- ・ KBP-5バッテリーケース
- ・ KMC-42Wスピーカーマイクロホン
- ・ KMC-47GPSGPS スピーカーマイクロホン
- ・ KMC-52ノイズキャンセルマイクロホン
- ・ EMC-10イヤホン付クリップマイクロホン
- ・ HS-9イヤホン
- ・ KEP-5イヤホン
- ・ KEJ-2イヤホンジャックアダプター
- ・ KLH-152イヤホンケース
- ・ EMC-8ボディ PTT システム
- ・ HMC-5骨伝導ヘッドセット
- ・ EMC-9ボイスデューサーシステム
- ・ KBH-12ベルトクリップ
- ・ KSB-1ショルダーベルト
- ・ KLH-177ハードケース
- ・ KLH-186ハードケース(ハードケース装着充電対応)

■ TCP-D143 専用

- ・ KRA-22AVHF ヘリカルショートアンテナ (136 - 150 MHz)
- ・ KRA-22BVHF ヘリカルショートアンテナ (146 - 162 MHz)
- ・ KRA-22CVHF ヘリカルショートアンテナ (162 - 174 MHz)
- ・ KRA-26AVHF ヘリカルアンテナ (136 - 150 MHz)
- ・ KRA-26BVHF ヘリカルアンテナ (146 - 162 MHz)
- ・ KRA-26CVHF ヘリカルアンテナ (162 - 174 MHz)

■ TCP-D243 専用

- ・ KRA-23AUHF ヘリカルショートアンテナ (400 - 450 MHz)
- ・ KRA-23UHF ヘリカルショートアンテナ (440 - 490 MHz)
- ・ KRA-27AUHF ホイップアンテナ (400 - 450 MHz)
- ・ KRA-27BUHF ホイップアンテナ (440 - 490 MHz)

■ ハードケース KLH-177/ KLH-186 で使用上の注意

本機にバッテリーケース KBP-5 を使用する場合、KLH-186 は装着できません。KLH-177 を装着する場合、ハードケースのホックは外側で留めてください。バッテリーパック KNB-57L および KNB-62L を使用する場合は内側で留めてください。ただし、スピーカーマイクロホン KMC-42W も使用するときは、マジックテープ側(ユニバーサルコネクター側)のみ外側で留めてください。



- 本機に使用できるオプション製品が追加されたり、生産が終了することがあります。オプション製品についてはカタログ等を参照してください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

保証について

● 保証書 (別添)

この製品には、保証書を (別途) 添付しております。保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

保証期間は、お買い上げの日より **2年間** です。

修理を依頼されるときは

「故障かな? と思ったら」(36 ページ) を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源を切って、お買い上げの販売店または弊社の通信機サービスセンターにお問い合わせください。

本機の故障、誤動作、不具合等によって通話などの利用の機会を逸したために発生した損害などの付随的損害につきましては、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は・・・

正常な使用状態で故障が生じた場合、保証書の規定に従って、お買い上げの販売店または弊社の通信機サービスセンターが修理させていただきます。修理に際しましては、保証書をご提示ください。

本機以外の原因 (衝撃や水分、異物の混入など) による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は・・・

お買い上げの販売店または弊社の通信機サービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

・補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

● 修理料金の仕組み (有料修理の場合は次の料金が必要です。)

技術料 : 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれます。

部品代 : 修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

送料 : 郵便、宅配便などの料金です。保証期間内に無償修理などをを行うにあたって、お客様に負担していただく場合があります。

仕様

機種名	TCP-D143		TCP-D243		TCP-D343
型式名	TCP-D143FT	TCP-D143CT	TCP-D243FT	TCP-D243CT	TCP-D343FT
送信出力	1 W/5 W (免許状に準じて設定が異なります)				
チャンネル数	TCP-D143FT/ TCP-D243FT/ TCP-D343FT : 512 ch TCP-D143CT/ TCP-D243CT : 250 ch				
周波数	142 ~ 162.0375 MHz (アナログ / デジタル)	VHF 帯 9 波 (アナログ) VHF 帯 28 波 (デジタル) * 内 9 波はデータ通信のみ	400 ~ 470 MHz (アナログ / デジタル)	UHF 帯 65 波 (デジタル)	335.4 ~ 400 MHz (アナログ / デジタル)
電波型式	F3E/F2D (アナログ) F1C/F1D/ F1E/F1F (デジタル)	F3E/F2D (アナログ) F1C/F1D/ F1E/F1F (デジタル:19波) F1C/F1D/F1F (デジタル:9波) ¹	F3E/F2D (アナログ) F1C/F1D/ F1E/F1F (デジタル)	F1C/F1D/ F1E/F1F (デジタル)	F3E/F2D (アナログ) F1C/F1D/ F1E/F1F (デジタル)
使用電源	7.4 V DC ± 10 %				
対応防水・防塵レベル	IP54/55/67				
寸法 (突起物を含む)	幅 56 mm × 高さ 103.8 mm × 奥行 32.2 mm				
KNB-62L 使用時	(幅 59.8 mm × 高さ 122.3 mm × 奥行 37.3 mm)				
質量 (重さ)	約 259 g (オプションのバッテリーパック KNB-62L を含む)				

- ¹ TCP-D143CT は、データ通信専用の 9 波では通話できません。
- 仕様は技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

その他

音声圧縮 (符号化) 方式について


米国 DSVI 社の開発した AMBE (Advanced Multi-Band Excitation) 方式を採用し、本機は AMBE+2™ に対応しています。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form. U.S. Patent Nos. #5,826,222, #5,754,974, #5,701,390, and #5,715,365

株式会社 JVCケンウッド

〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

- 商品および商品の取扱いに関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル  **0120-2727-87** <電話番号をよくお確かめの上、おかけ間違いのないようご注意ください。>

※発信者番号が非通知の場合は、「0120」の前に「186」をつけてからおかけください。

携帯電話・PHS・一部の IP 電話などフリーダイヤルがご利用になれない場合は
045-450-8950

F A X 045-450-2308

住所 〒 221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町 3-12

受付日 月曜日～土曜日 (祝祭日・弊社休日を除く)

受付時間 月曜日～金曜日 9:30～18:00

土曜日 9:30～12:00、13:00～17:30

- 修理などアフターサービスについては、弊社ホームページをご覧ください。か、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

URL <http://www2.jvckenwood.com/cs/service.html>